

## 殺菌剤

# デラン<sup>®</sup>フロアブル

®=BASF社の登録商標

殺菌剤分類 **M9**

有効成分

ジチアノン(PRTR・1種) ..... 42.0%

登録番号：第21816号

性 状：褐色水和性

粘稠懸濁液体

毒 性：医薬用外劇物

有効年限：3年

包 装：500ml×20本



## ■特長

- みかんのそうか病やなしの黒星病などにすぐれた予防効果を示します。
- 耐性菌が発達しにくく、他薬剤で効果が低下した菌にも安定した効果を示します。
- フロアブルなので、葉や果実への付着量や耐雨性にすぐれます。
- 原体粒径が小さく、作物の表面をくまなく覆うため保護効果にすぐれています。
- 散布液調製時に粉立ちがなく、使用しやすいです。

## ■適用病害と使用方法

(2022年9月28日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジチアノンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	黒点病	1000~1500倍	200~700ℓ /10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
	そうか病	20倍	10ℓ /10a			無人航空機による散布	
	炭疽病(さび果)	1000倍	200~700ℓ /10a			散布	

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジチアノンを含む農薬の総使用回数
りんご	輪紋病 モニリア病 斑点落葉病 黒星病 炭疽病 黒点病 褐斑病 すす点病 すす斑病	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ /10a	収穫60日前 まで	3回以内	散布	3回以内
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病	2000倍		収穫90日前 まで	5回以内		5回以内
もも	せん孔細菌病	600～1000倍		収穫7日前 まで	4回以内		4回以内
	灰星病 ホモブシス腐敗病	600倍					
	黒星病	600～1000倍					
	縮葉病	1000倍					
ネクタリン	せん孔細菌病	600～1000倍	収穫14日前 まで	2回以内	2回以内		
	灰星病 ホモブシス腐敗病	600倍					
	黒星病	600～1000倍					
	縮葉病	1000倍					
うめ		1500～2000倍	10ℓ /10a			無人航空 機による 散布	
	黒星病 すす斑病	40～50倍					
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病 赤星病 疫病 炭疽病 心腐れ症 (胴枯病菌) 黒斑細菌病 褐色斑点病	1000倍	200～ 700ℓ /10a	収穫60日前 まで	4回以内	散布	5回以内
	枝膨病 べと病 黒とう病 晩腐病						200倍
ぶどう	黒とう病 晩腐病 つる割病		休眠期	1回			

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジチアノンを含む農薬の総使用回数
いちじく	そうか病	1000倍	200～700ℓ /10a	収穫75日前まで	3回以内	散布	3回以内
おうとう	褐色せん孔病			収穫終了後～落葉期まで			
いちご	炭疽病		100～300ℓ /10a	育苗期	2回以内		2回以内
せんりょう			200～700ℓ /10a	発病初期	3回以内		3回以内

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 本剤は分離を防止するため、静置時は粘度が高く、振れば容易に粘度が下がるように処方されているので、必ず振ってから使用してください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- かんきつに使用する場合は次の事項に注意してください。
  - ①開花期以降のマシン油乳剤との混用散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。また開花期以降に本剤を使用する場合には、マシン油乳剤との散布間隔を30日程度あけてください。
  - ②夏期以降の散布は果皮に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
  - ③炭疽病(さび果)に使用する場合は、感染期に約1ヵ月の間隔で発病前に予防的に散布してください。
  - ④収穫後長期間貯蔵する中晩柑に使用する場合は、貯蔵中、果皮に斑点が発生することがあるので、散布をさけてください。
- りんごのモニリア病に使用する場合、多発条件下では所定希釈倍数内の高濃度で使用してください。
- りんごの展葉後に降霜があった場合、本剤を開花中に使用すると花弁に薬害を生じるおそれがあるため散布をさけてください。
- ハウス栽培のなしに対しては、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 機能性展着剤(アプローチBIなど)の加用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- ぶどうの黒とう病に使用する場合は、発芽前～新梢伸長期に予防的に散布するのが効果的です。ただし新梢伸長期の散布は葉に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- いちご及びせんりょうに使用する場合は、新葉に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
  - ①散布機種種の散布基準に従って実施してください。
  - ②散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - ④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

⑤散布終了後は以下の注意事項を守ってください。

- ・使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
- ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
- ・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。

●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**魚毒性**…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。

水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保 管**…直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

